

学生が考える！

Vol.5

都留市の企業×SDGsの未来



企業と個人を支援し、地域を元気に



問合先 企画課 企画担当

SDGsに取り組んでいる市内企業を都留文科大学生が実際に訪問・取材し、皆さんに紹介！第5弾は預金・融資・為替業務だけでなく、地域課題の解決と地元の活性化、多様なSDGsの支援に取り組む(株)山梨中央銀行に学生が迫ります。



1. SDGsの推進で地域の企業・産業の発展を支える

山梨中央銀行は、「山梨中央銀行グループSDGs宣言」のもと、地域の企業・産業の発展を支えることで豊かで持続可能な地域社会の実現を目指しています。企業が継続的に発展していくにはSDGsの取り組みが不可欠であると、「SDGs言サポートサービス」で法人のSDGs取り組み状況に助言したり、「SDGs私募債」で企業の資金調達とSDGsに取り組む団体への寄付を両立させています。他にもSDGs関連の商品を多く扱い、金融面から地域のSDGs推進に貢献しています。

2. 金融リテラシーの向上に寄与

学生などを対象に年齢に合わせたマネースクールを開催し、子どもたちの経済的自立に向けたサポートを行っています。他にも職場体験や資産形成のWebセミナーなども実施し、幅広い年齢層に向けた金融リテラシーの普及に取り組んでいます。



▲「キャッシュレスの良いところは？」という問題に3択で答える子どもたち

3. 地域に寄り添い、環境にやさしく

就学援助を受けている家庭へのフードドライブや、店舗ロビーでの地域の方の作品展示を通じて、地域活性に貢献しています。また、ママさんバレー大会を主催し、スポーツ振興にも力を入れています。店舗内のセミセルフ端末には再生紙を使った段ボールの仕切りパネルを採用するなど、環境負荷低減にも取り組んでいます。



▲本連載Vol. 1で取り上げた(株)ユースン製の仕切りパネルと市民の書道作品

学生からの一言

山梨中央銀行は、「金融×スポーツ×デジタル」を融合させた未来型店舗の開設など、先進的な金融サービスに取り組む一方で、地域社会への貢献にも力を入れており、お金のやり取りにとどまらず、地域を活性化したいという強い思いを感じました。今回の取材では、都留支店の支店長と副支店長のお二人に加え、本部の広報・サステナビリティ推進室の方々にもご協力いただき、心より感謝申し上げます。

取材者：都留文科大学生 渡辺 さやか、平松 敬汰郎



取材先：(株)山梨中央銀行 都留支店
(都留市中央2丁目2-15)

支店長 森 洋史
副支店長 宮下 修一

(株)山梨中央銀行の
HPはこちらから▶



(株)山梨中央銀行のSDGsのポイント



1. 貧困をなくそう

フードドライブを通じて、貧困問題の解決に貢献



4. 質の高い教育をみんなに

出張金融教育により金融リテラシーの向上に貢献



11. 住み続けられるまちづくりを

多様な地域活動支援により地域活性化を促進

都留市ではSDGs宣言事業所を
募集しています。

「都留市SDGs宣言事業について」市HP▶

取材協力：地域活性化起業人
宮川清希(株)ニコン日総プライム)

